

平成15年度

事業報告書

平成16年5月20日

社会福祉法人

陽光福祉会
理事長大庭正宏



はじめに

平成 15 年度は、当太陽の子保育園の創立者である大庭弓子前園長が、くも膜下出血のため、平成 15 年 9 月 24 日に急逝された大変大きな悲しみの年であった。

前園長の急逝に伴い、緊急理事会を開催して新園長の選任を行った。

この理事会で、前理事長の大庭嘉雄（私）が園長に選出され、新理事長には、大庭正宏氏が選出された。

この 2 件の新人事について、東京都の了解も得て平成 15 年 10 月より、新体制で太陽の子保育園を運営することになった。

このような事情があるため、平成 15 年度の事業報告書をまとめる上で色々と判らないこともあり苦勞することが多いが、次ページから今年度の報告をまとめる。

尚、弓子園長急逝後のこの半年を振り返っての大雑把な感想を記すと、

無認可保育室 20 年間運営の苦勞の末、晴れて平成 13 年 4 月 1 日に認可保育園太陽の子保育園を開園してから僅か 2 年 6 ヶ月であり、開園時の立ち上げの苦勞が収束してこれから新たな展開を期していたと思われる時期の悲劇であった。こうした状況下での急逝のため、一時はどうなるかと途方にくれることもあったが、副園長、保育主任を初めとした全職員の団結・努力と、羽村市・東京都等の関係者のご協力により、おかげさまで混乱もなく無事乗り切ることが出来ました。

保育経験ベテランの前園長に比し、新園長の私は保育に関する実際的な経験はありませんが、理事長初め理事の皆様、そして全職員の絶大なご協力のもと力いっぱい頑張り、地域の皆様からより信頼され頼りにされる保育園として益々発展していくよう取り組んで参ります。

法人関係

①各役員会会議

- ・ 5月27日 監事による監査
- ・ 5月27日 定例理事会(平成14年度収支決算報告中心)
- ・ 10月9日 緊急理事会(園長急逝に伴う新体制の検討)
- ・ 11月27日 定例理事会(平成15年度第一次補正予算中心)
- ・ 3月26日 定例理事会(第二次補正予算・事業計画・平成15年度当初予算)

②施設整備計画

- (1) 駐車場の整備について……駐車場の舗装については、保護者からの苦情も多く最大の懸案事項であったが、羽村市からの舗装許可がおりて8月駐車場の舗装と降雨時の排水処理工事が完成した。
- (2) 園庭の整備について……子どもたちが、お砂遊びが出来るように砂を入れて整備をした。園庭が狭く難しいが、工夫して「お砂場」を作るよう今後計画したい。

職員関係

① 職員構成と職務分担

分担は、基本的には計画通り。退職者は保育士で1名(丸山明美:エステの仕事に移る)、調理師で1名(大庭紀子:フランス料理店を夫と開業)、特例パート2名(藤島祐美子、久田和江:共に自己都合)であるが、全て円満退職である。補充の手当ては済んでいるが16年度事業計画で明示する。

② 職員会議等の予定と、職員の健康管理

ほぼ計画通りに開催した。

③ 研修計画

詳細は、研修報告書に記載されているので、ここでは概略を記す。

(食育に関する研修会)

- ・ 5月15日 「それでも食べますか? 輸入食品」 7名出席
- ・ 6月13日 「保育園で人気のお魚料理」 2名出席
- ・ 9月11日 「旬の食材(お魚)おいしい給食」 1名出席
- ・ 10月9日 「21世紀の子供達の食生活と健康を守る」 2名出席
- ・ 2月25日 「子どもの食と健康についての研修会」 2名出席

(統合保育に関する研修会)

- ・ 5月24日 「障害者の性と生について考える」 1名出席
- ・ 6月9日 「障害児と上手にかかわりをもつため」の澤井先生との相談会
- ・ 6月16日 統合保育発達研修会 1名出席

- ・ 8月6日 「ADHDの子ども地域で育むために」 1名出席
- ・ 10月29日 西保連 統合保育発達研修会(澤井先生) 1名出席
- ・ 11月6日 東京小児療育病院の見学(作業療法士・心理判定員の説明)
(教養講座)
- ・ 5月29日 「幼児期の絵の具の指導」 2名出席
- ・ 9月3日 和太鼓講習会(多摩っ子座) 多人数出席
- ・ 11月13日「わらべ唄研修」 2名出席
- ・ 1月10日「くぼた まさと」研修会(工作指導) 5名出席
(その他)
- ・ 8月11・12・27日 社会福祉法人施設会計研修 1名出席
- ・ 10月29日 民間社会福祉サービス推進費補助の再構築について 2名
- ・ 2月11～13日 保育所リーダーの専門性を高める研修会 1名出席

児童処遇関係

①園児のクラス編成

- ・適正であった。

②児童の健康管理

- ・計画どおり実施。

③給食実施

- ・内容的には指導 方針どおり実施した。さらに給食の内容が向上するために、子供達の残菜等を調査して、改善した。また、クラスごとの担任と、厨房の担当者との話し合いを持ち残菜が少しでも少なくなるように、協力するよう確認しあった。献立の内容についても、同じである。
- ・衛生面については、調乳従事者は毎月検便を実施し、自己の衛生管理に努めた。
- ・「食育」に関する研修会への積極的な参加を働きかけて、給食面でのより良い改善に役立つように働きかけた。

④保育

- ・年間行事計画

計画どおりほぼ実施した。

9月 敬老の日の集い—子どものお便り発送(非常に好評である)

10月 運動会—10月11日の開催で、前園長急逝から間もない時期でもあり心配したが、天候にも恵まれて元気いっぱいの大成功の運動会であった。この運動会が円滑に進行し、こどもたちも大喜びの運動会が開催できたことにより、保護者の皆様も一安心されたようで良かった。

1月→12月の「おもちつき大会」について — 従来は、保護者も参加しての行事であったが、今年からは、お米を洗うところから園児が参加して「お米」からどのようにして「おもち」になっていくのか、を知ってもらうことも含めて園内行事に変更した。尚、時期的にも、1月では寒すぎるとの意見もあり、12月3日(水)に開催した。

結果は非常に好評であり、当面はこの方式でおもちつき大会を行う。

12月 サン太音楽祭—今年で三回目を迎えたサン太音楽祭。小澤先生ご夫妻による「本物にふれる会」として、クリスマスソングを中心にした楽しい音楽祭が開催できた。前回の会場(羽村市福祉会館ホール)に比べ今回の会場(羽村市コミセン)は、会場が狭く保護者の方々の参加人数を大幅に制限せざるを得なかった。建て替え工事の関係であと2年は羽村市コミセン会場しか無いことと、こどもたちがなかなか本物の音楽を！と言っても聞いていない問題もあり、平成16年からはこの催し物の内容について再検討する予定である。

⑤安全管理

(計画どおり実施)

- ・平成15年度の避難訓練の記録簿は、別にあり。
- ・防災設備等の保守点検は、別の記録簿に記載。
- ・非常用品購入

計画通り「避難用乳母車」一台を購入した。

保護者との関係

(計画どおり実施)

- ・ 保育懇談会では、保護者からいろいろな意見が出された。これを参考に、今後の保育に役立てていかせたい。
- ・ 個別面談は、問題が提起した時点で行った。
- ・ 15年度事業計画の7. その他に記載した「苦情解決体制の完全化」を図るための第三者評価人の選定については、羽村市の民生委員をされている外山和子さんと当法人監事の中園文子さんの2名にお願いをして快く了承していただいた。これにより、苦情解決体制のあるべき姿が整ったため、「ご意見・ご要望をお述べになる機会について」「ご意見・ご要望の解決のための仕組みについて」「ご意見・ご要望の相談における際の第三者委員の役割について」等を作製し、これを保護者が見やすい場所に掲示して体制を整えた。(12月1日付) なお、12月1日以降の苦情相談は現在のところはなし。

地域社会との関係

- ・ほぼ計画どおり実施した。

地域住民の方々の行事参加により、保育園の地域での役割を少しでもご理解

していただけだと思っている。また、地域の清掃等を毎日実行したおかげで、友好関係を持つことができた。今では、園の行事にも参加して下さるようになった。ただ、「餅つき」については前述したように、園内行事に変更したことから、地域の皆様には、おもちつき大会のご案内は行わず、子どもたちがついたおもちを近隣のご家庭に配った。

特別保育事業の実施状況について

1. 延長保育(pm6:00~8:00の2時間迄の延長保育)

1H&2H別の延長保育利用人数の推移

	平成13年度	平成14年度	平成15年度
1時間延長	10名/日	15名/日	6名/日
2時間延長	11名/日	12名/日	16名/日

- ・平成15年度は、14年度に比べ2時間延長利用者は増加しているが、1時間延長利用者が大幅に減少し、両方合わせた人数でも減っている。
- ・他の保育園も、1時間延長保育は多くの保育園で実施しているが、2時間延長は当保育園のみのため、仕事の都合等で8時近くなってしまうことが度々ある保護者にとっては、太陽の子保育園にどうしても入園したいと言う人がいるようだ。

2. 一時保育事業(休日を除く平日の8:30~17:00まで)の実施状況について

半日&一日別の一時保育利用人数の推移

	平成13年度	平成14年度	平成15年度
半日保育	両方で	52名/月	41名/月
一日保育	*74名	100名/月	117名/月

- ・平成15年度からは、近くのたつの子保育園でも一時保育を始めたが、14年度に比べほんの僅かではあるが反って増えており、一時保育の需要が大きいことが推察される。

3. 休日保育事業の実施状況について

休日保育の利用人数の推移

	平成13年度	平成14年度	平成15年度
休日保育	26名/月	27名/月	29名/月

- ・利用者数は若干増えているが、休日1日当りにすると僅か5~6名の利用人

である。開園当初から、経営的に非常に厳しいものがあつたが、(職員はたとえ1名・2名の利用者でも最低4名は必要)平成15年度から、補助金基本額が半分以下にカットされた。このため現状は大赤字である。

なお、休日保育実施のため、一年間で休園日は年末年始の6日間だけである。このため、職員のローテーション上大きな負担となっていることと、各種行事を計画する上でも(特に園内研修等)非常にやりにくい状況である。本件については、すでに羽村市児童課に申し入れをしており、平成16年度中に善処してくれるよう依頼済みである。

4. 地域子育て支援センター事業の実施状況について

・利用人数は、毎年130人前後である。育児不安等についての相談も、毎月10件近くあり担当する保育士が丁寧に対応しており、子育て家庭に対しての大きな力となっていると確信している。

以上